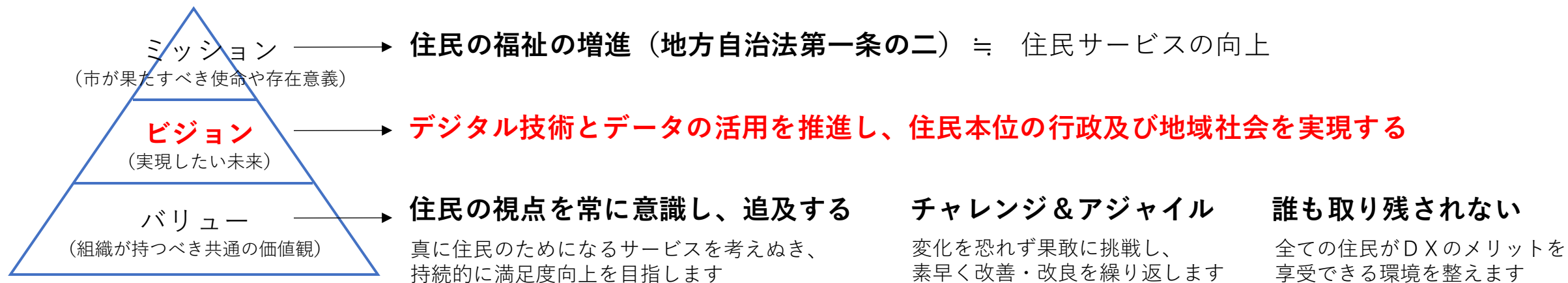


D X推進計画に基づくWG活動への協力依頼

- 令和7年度WGメンバーの選出依頼
- 論点ペーパー「変革に向けた心構えや取り組み」

前橋市DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画の概要

- ミッション（使命）・ビジョン（未来像）・バリュー（共通価値）を定義し、3つの柱と8つの重点事業のもと、着実に歩みを進めていく。計画期間は5年間（2021年4月～2026年3月）。
- 重要なのは、単なる新技術の導入ではなく、「デジタル化を手段として変革を進めること（＝DX）」。
社会環境や市民ニーズの変化に対応し、業務そのものやプロセス、組織、文化・風土を変革する。



3つの柱と8つの重点事業

1 住民の利便性向上	2 新たな価値創造	3 すべての住民に
(1)行政手続のオンライン化 (2)マイナンバーカードの普及・活用 (3)情報システムの全体最適化	(1)官民データ活用の推進 (2)市役所のDX推進 (3)地域社会のDX推進	(1)デジタルディバイドの解消 (2)デジタルインフラの整備

令和7年度 WG活動一覧

- ・重点事業を推進するため、庁内横断的なWGを組成
- ・活動の性質に応じた職員選出を依頼（詳細は、庁議終了後に別途通知）
- ・従事時間目安は、DX推進委員会設置要綱に基づき、概ね週の10%（3～4時間）

WG名	目的	活動予定	職員選出
①マイナンバーカード活用・普及WG	マイナンバーカードの活用を通じて、市民の利便性向上及び市行政の効率化を図る。	・国の動向等を踏まえた利活用策の検討（例：各種証明書のコンビニ交付、保険証、免許証、オンライン申請、マイナポータル） ・市民へのわかりやすい情報発信 等	所属から推薦 市民課、交通政策課、国民健康保険課、情報政策課
②デジタルデバйд解消WG	年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、誰も取り残されない形で、市民にデジタル化の恩恵を広く行き渡らせる。	・まえばしデジタルサポーター制度の充実（希望する市民が身近な場所で相談や学習を行える環境を拡充） ・市民向けスマホ講座の開催 等	所属から推薦 市民協働課、生涯学習課、長寿包括ケア課、障害福祉課、情報政策課
③(仮)地域窓口WG	一部の公民館・市民サービスセンターをモデルケースに、市民にも職員にもやさしい窓口業務のあり方を研究する。	・公民館、市民サービスセンター窓口業務の改善（貸館予約システムの拡充、窓口フロントヤード改革との連携）等	所属から推薦 生涯学習課、公民館、市民サービスセンター
④BPR推進WG	庁内共通課題の解決に向けたリーダー人材の共創を通じて、全ての所属が自主的・自律的にBPRできる環境をつくる	・職位に応じた職員の意識改革、人材育成 ・コミュニケーションポリシーの改定 ・課題解決コミュニティの組成と実践	公募
⑤ミライズ WG	職員でなければできない企画立案業務や住民への直接的なサービス提供に注力できる環境をつくる。	新しい時代に合わせた働き方、価値観の醸成 ・たすけあい+（本格運用、寺子屋事業 等） ・越境ワークショップ ・新たな活動の企画、実践	
⑥地域社会のDX推進WG	生活者の価値やユースケースを起点とした新しい発想で、地域課題の解決や地域の活性化を目指す。	・オープンデータの推進（公開データの拡充） ・オープンデータの活用（民間サービスとの連携、産学官による新たな活用策検討）等	

デジタルデバйд解消WG

BPR推進WG



- まえばしデジタルサポーター制度
- ・ 113名の市民がサポーターとして活躍中
 - ・ デジタルよろず相談所（市内5か所）で市民の困りごとを解決 * R7年度増設予定



組織のナレッジ共有を通じて、
職員のスキルUPや自発的な業務改善を促進

【論点】

職員が日々の業務を遂行しながらも、抜本的な業務改革（BPR）や組織・地域の未来を考える活動（WG活動）に向かうためには、どのような心構えや取り組みが必要か？

冰山モデル



- ・ 時間の確保
- ・ 目的の共有
- ・ 支援の仕組み
- ・ 人材育成
- ・ 組織風土 など